

12月の保育目標と予定

保育目標

予 定

今月のテーマ

「おささげします、この心」

目 標

イエスさまのお誕生を心から祝いながら、みんなで聖劇礼拝に参加する
本当のクリスマスの意味を知る

ひとこと

あちこちのクラスから聖劇礼拝の聖歌が聞こえてくるようになりました。その音色に自然と心が躍りすみれ組をのぞいて見たところ、役を演じながらうたうその顔の誇らしげなこと！他のクラスの子も「自分たちも」と張り切っていたり、「すみれになったら…」と今から憧れているようです。クリスマスをおよぶこのような気持ちで迎えられる子どもたちは、なんて幸せなのだろうと思います。もちろん自分がもらうプレゼントも楽しみですが、それ以上にイエスさまのお誕生を祝おうとする気持ちであふれています。

今月の聖歌

「うまぶねに やすく」

今月の行事から

22日（火）終業式 クリスマス祝会

たくさん行事のあった二学期ですが、この日の終業式で終わります。式が終わってからはクリスマス祝会です。たのしい出し物も用意しています。保護者の皆様もご参加ください。



日	曜	行事などの予定
1	火	
2	水	クリスマス準備会
3	木	アルミ缶回収
4	金	全体礼拝
5	土	休園日
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	全体礼拝
12	土	休園日
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	聖劇礼拝リハーサル
18	金	クリスマス聖劇礼拝
19	土	休園日
20	日	
21	月	
22	火	終業式 クリスマス祝会
23	水	天皇誕生日 教会学校クリスマス会
24	木	クリスマスイブ
25	金	クリスマス
26	土	
27	日	
28	月	休園日
29	火	教職員冬休み
30	水	
2010年1月		
8	金	3学期始業式



今月の聖書のおはなし



12月4日「クリスマス物語 誕生、羊飼いの訪問」

ルカによる福音書 2:1~21

ローマ皇帝アウグストゥスから全領土に住民登録せよとの命令が出されました。ヨセフは身重の妻マリアを伴って住んでいるナザレから先祖ダビデの町ベツレヘムに上って行きました。旅の途中、マリアは男の子を産みました。おさな子は粗末な家畜小屋に生まれ、布にくるまれて飼い葉桶に寝かされていました。近くで羊の番をしていた羊飼いたちに天使からうれしい知らせが届き、マリアとヨセフ、また乳飲み子を探し当てました。最初にお祝いにかけたのは羊飼いたちでした。8日目におさな子はイエスと名付けられました。

12月11日「クリスマス物語 東の博士たちの訪問」

マタイによる福音書 2章 1~17

東の国の星占いの学者たちはヘロデの王宮を訪ね「ユダヤ人の王として生まれた方はどこにおられますか」と言いました。王は民の祭司长や律法学者たちに調べさせてベツレヘムであることが分かり、博士たちに「見つかったら知らせるように」と言って送り出しました。博士たちは星に導かれておさな子のいる場所を探し当て、ひれふして持ってきた黄金、乳香、もつ薬を贈り物として捧げました。博士たちが帰ったあと、ヨセフに夢でエジプトに逃げるように告げられ、母子を連れて夜のうちに去って行きました。博士たちは王のところには寄らずそれぞれの国に帰ったため、ヘロデは怒ってベツレヘム周辺の2歳以下の男の子たちを一人残らず殺させました。
(野澤 達也)



教会での久しぶりの全体礼拝 改修工事の終わった聖堂前で撮影しました(11月6日撮影)